



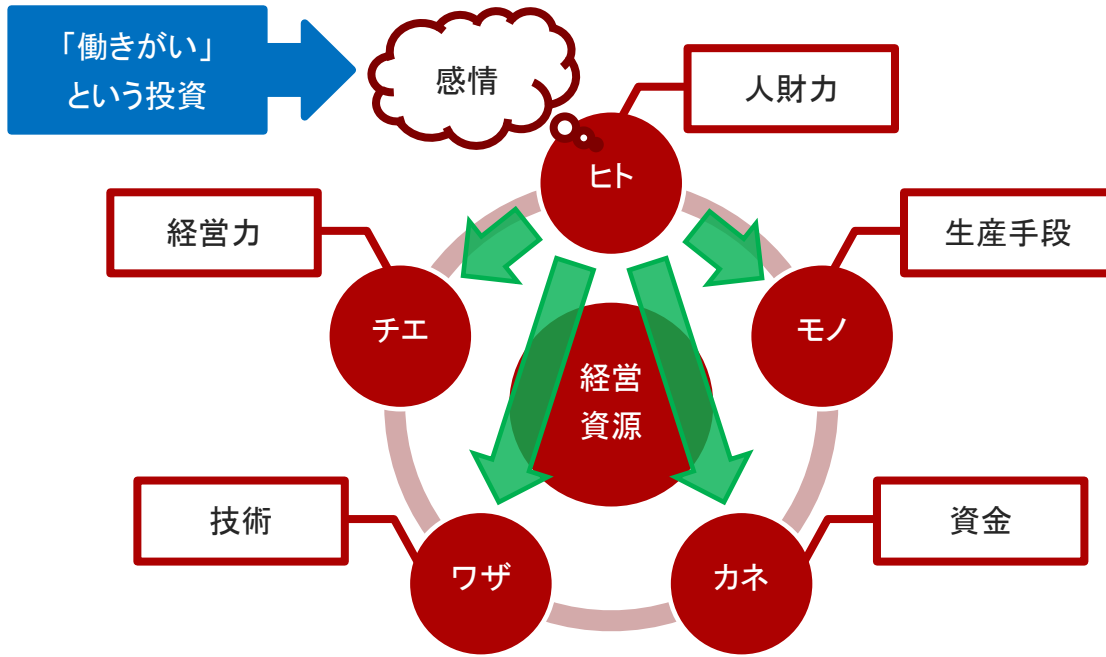
あなたの会社の  
「働きがい」  
を測定します

NPO法人ディーセント・ワークへの扉



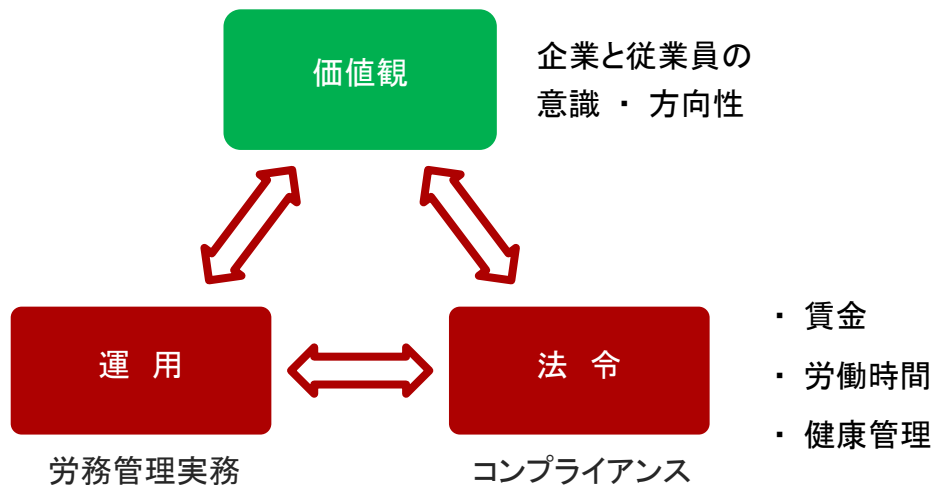
NPO法人 ディーセント・ワークへの扉

## 企業を動かしているのは「ヒト」です



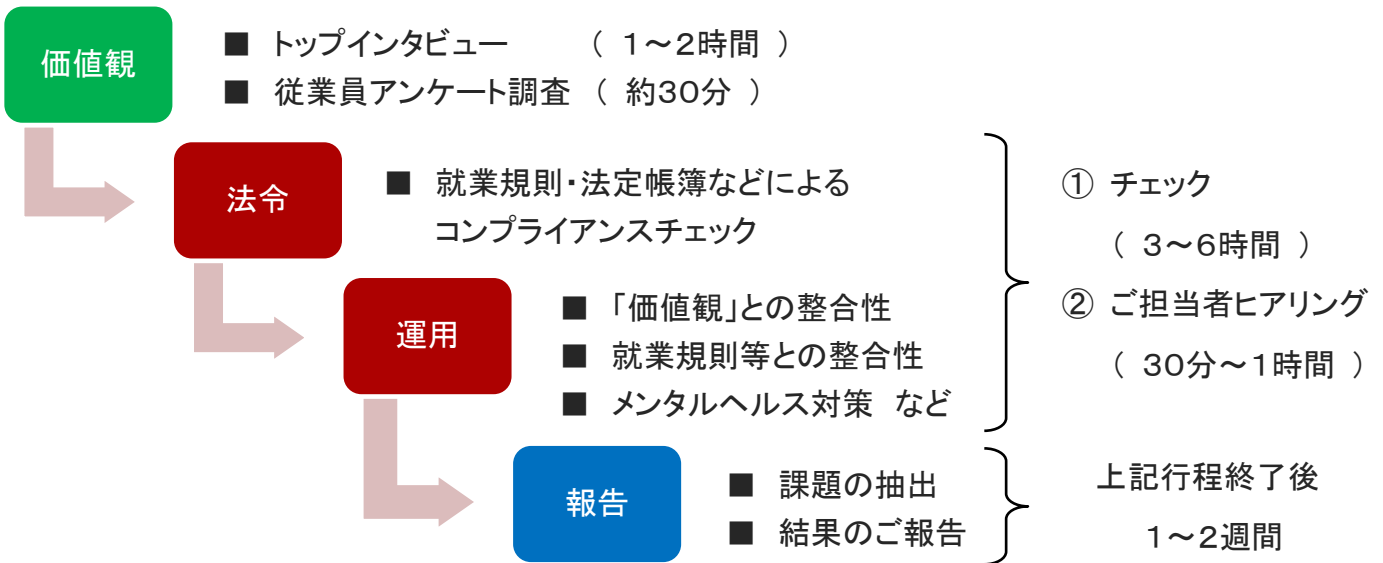
従業員が健康でいきいきと働ける職場づくりは、業務の生産性、従業員のロイヤリティー、採用力、次世代育成力、社会的評価などを向上させる、企業にとって大きなリターンが見込める有望な投資です。

## 働きがいを測定する3つの要素



「働きがい」とは、企業と従業員の「価値観の重なり度合」です。  
この、企業内では実施が困難な「価値観」の測定が、Decent Work Assessment の中核となりますが、近年、特にトラブルの原因となっている「賃金」・「労働時間」・「健康管理」への法的な対応と運用状況のチェックをワンセットとして、「働きがい」を測定します。

## 基本的な測定の流れ



最初にトップインタビューを行い、具体的な実施方法とスケジュールを設定します。

基本的な構成は上記のとおりですが、部分的な実施や、ご要望に応じたその他オプションの追加など、カスタマイズも可能です。

また、企業によって測定の前提となる状況は異なりますので、トップインタビューの結果をもとに、必要に応じてカスタマイズのご提案もさせていただきます。

## 費用の目安

| 従業員数        | 一般企業     | 会員企業     |
|-------------|----------|----------|
| 40人以上 50人未満 | 125,000円 | 100,000円 |
| 30人以上 40人未満 | 110,000円 | 88,000円  |
| 20人以上 30人未満 | 95,000円  | 76,000円  |
| 10人以上 20人未満 | 80,000円  | 64,000円  |
| 10人未満       | 65,000円  | 52,000円  |

基本的な内容による費用の目安です。

就業規則等の有無や、カスタマイズの内容に応じて変動しますので、お気軽にお問い合わせください。

【 お問い合わせ 】 TEL:00-0000-0000 MAIL:000@000

## ～ 経営者と働く人に笑顔を ～

ディーセント・ワークとは、1999年に国際労働機関(ILO)のファン・ソマヴィア事務局長が、ILOの活動として掲げたもので、「権利が保障され、十分な収入を得、適切な社会的保護のある生産的な仕事」のことです。我が国でも2010年の新成長戦略でディーセント・ワーク「人間らしい働きがいのある仕事」に向けて様々な施策に取り組むことを謳いました。

今、私たちを取り囲む職場の環境は、職場における仕事のゆとりが急速に失われ、共同体的な関係も脆弱化しています。その結果、過労死・過労自殺は増加し、海外では「KAROUISHI」と翻訳されています。企業も発展し働く人が過労死・過労自殺しないためには、従来個別にアプローチしてきた「企業経営」と「人事労務管理」にブリッジをかけ、経営者と働く人が共同してディーセント・ワークのできる企業にしていくことが必要です。

企業経営者の皆様には社会保険労務士によるコンプライアンスと社員の意識調査を中心とした Decent Work Assessment、経済産業省職員による経営支援施策の紹介とその効果的な活用方法を提供します。当法人は、このような活動を通じて、多くの企業が「ディーセント・ワークへの扉」を開き、経営者と働く人がお互いの自立と助け合うことのできる新しい都市型のネットワーク社会を目指したいと思います。そして、人間として生きていくための自信と誇りを回復し、未来に希望を持って人生を送り、お互いの手を携えて生きていくことができる企業・地域にしていくことを目的としています。

( 設立趣意書を要約 )

### NPO法人ディーセント・ワークへの扉



NPO法人 ディーセント・ワークへの扉

